

質問； 代替選手の活用について教えてください。

回答； このルールは、特に監督やコーチの方はよく理解しておいて欲しいですね。

「代替選手(だいがえせんしゅ)」聞きなれない用語だと思いますが、活用の仕方によっては大変助かるルールです。

まずルールを紹介しますと、「試合中、プレイヤーが出血した場合、ただちに止血などの処置を行わなければならない。出血したプレイヤーはその処置が完了するまで試合に戻ることができず、その処置が完了するまで臨時の代替プレイヤーを使用することができる」となっています。ここでのポイントは、_____の部分です。打撲、捻挫等々で出血を伴わない場合は適用できません。

【参考】

当協会主催の大会に限りの特別ルールとして「出血を伴わない場合も適用できる」となっています。【ホームページの大会規定ご参照】

当協会主催の大会を例に説明しますと、例えば、1回、二塁手のA選手が走者と交錯し出血はしていないが足首を痛めたとします。そこで、A選手を治療させるため、控えのC選手を代替選手として二塁の守備につかせ試合を続行するものです。

A選手はベンチで治療後、C選手と交代します。(この取り扱いは「再出場」のルールは関係ありません)

例の場合、交代したC選手は、その後控えの選手として代打・代走・守備の交代として出場できます。試合に出ていないと同じ扱いです。

【ご注意】

当協会主催以外の大会(例 県大会)においては出血を伴っていませんので、代替選手のルールは適用できませんので、ご注意ください。

なお、代替選手には、次の条件があります。(当協会の場合も同じです)

- ①代替選手(例ではC選手)が出場できるのは、次の回の終了時までです。例の場合であれば2回終了時までです。そこまでにA選手が復帰できなければC選手にそのまま交代させるか、別の選手と交代させなければなりません。
- ②代替選手となれるのは、ラインアップに入っていない選手であること。控えの選手は勿論、一旦退いた選手でも構いません。但し、退場・除外等ルール違反で退いた選手はなれません。

代替選手には、2回でも3回でも何回でもなれます。

- ③適用するとき、或は、元の選手が戻るときは、必ず球審に通告することが必要です。
通告なしは「無通告交代」となり、ペナルティがあります。(アピールブレイ)